

令和 8 年 9 月 1 日

各 位

新潟県・新潟市小学校教育研究会
会長 藤本 高雄
第 65 回全国学校体育研究大会新潟大会
実行委員会 会長 門倉 純一

令和 7・8 年度 新潟県・新潟市小学校教育研究会 指定研究（2 年次）
第 65 全国学校体育研究大会新潟大会のご案内（2 次案内）

処暑の候、皆様にはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、昨年度より標記事業の指定を受け、第 65 回全国学校体育研究大会新潟大会（主催：スポーツ庁及び公益財団法人日本学校体育研究連合会）の開催に向けて、本大会実行委員会では、大会主題を「生涯にわたる心身の健康の保持増進と豊かなスポーツライフの実現に向けて、子供たちが深く学ぶ楽しさや喜びを実感できる体育・保健体育学習」として研究を進めております。

令和 8 年 11 月 12 日（木）には朱鷺メッセにおいて、全体会としてスポーツ庁による解説、シンポジウム、特別講演を行います。また、翌 13 日（金）には、県内 12 か所の園、学校において、公開保育・授業、研究協議等で研究の成果の発表を行います。

つきましては、大変お手数をお掛けしますが、各校園の教職員の皆様への周知をお願いいたします。本大会の開催要項及び参加申込等の案内は、下記のホームページから閲覧できます。また、参加申込については、令和 8 年 10 月 9 日（金）までを期限としております。

なお、新潟県内の小学校教員は参加費無料となります。関係の先生方をはじめ、教職員の皆様方にもご紹介いただき、参加につきまして特段のご高配を賜りたくお願い申し上げます。

記

○ 公益財団法人日本学校体育研究連合会ホームページ <http://www.gakutairen.jp/>

※申込接続開始 令和 8 年 9 月 1 日（火）

大会役員・関係者として参加する教職員の参加申込は必要ありません。

お問い合わせ
第 65 回全国学校体育研究大会新潟大会実行委員会事務局 担当：櫻井 朝之 （新潟市教育委員会学校支援課 指導主事） TEL 025-226-3261 FAX 025-226-0073 E-Mail t.sakurai8826@city.niigata.lg.jp

第65回全国学校体育研究大会

新潟大会

第二次案内
(新潟県内用)

大会主題

生涯にわたる心身の健康の保持増進と豊かなスポーツライフの実現に向けて、
子供たちが深く学ぶ楽しさや喜びを実感できる体育・保健体育学習

【ご案内】

新潟県において、第65回全国学校体育研究大会新潟大会を開催いたします。開催に向けましては、学校体育に対する先催都道府県の熱き思いを受け継ぎ、準備を進めてまいりました。大会主題を「生涯にわたる心身の健康の保持増進と豊かなスポーツライフの実現に向けて、子供たちが深く学ぶ楽しさや喜びを実感できる体育・保健体育学習」と設定し、新潟県が進めてきた授業改善の成果を踏まえた授業を公開し、各分科会において、大会主題の具現化に向けた体育・保健体育学習の在り方について提案させていただきます。

これまで私たちが取り組んできた、本県の目指した体育・保健体育学習についての研究から得られた知見と、全国からお集まりいただいた皆様方からのご意見等を合わせまして、本大会の研究の成果が日本全国に広がっていくことを願い、ご案内申し上げます。

第65回全国学校体育研究大会新潟大会実行委員会 会長 門倉 純一

令和8年11月12日（木）～13日（金）

主催 スポーツ庁 公益財団法人日本学校体育研究連合会
共催 新潟県教育委員会 新潟市教育委員会 長岡市教育委員会
主管 第65回全国学校体育研究大会新潟大会実行委員会

【お問合せ先】

新潟大会実行委員会事務局（新潟市教育委員会学校支援課内） 櫻井 朝之
〒951-8554 新潟市中央区古町通7番町1010番地 古町ルフル4階
TEL 025-226-3261 FAX 025-226-0073
E-mail t.sakurai8826@city.niigata.lg.jp

第65回全国学校体育研究大会新潟大会 開催要項

1 趣 旨

現在、中央教育審議会において、次期学習指導要領に向けた検討が進められている。社会の変化が加速し予測困難な時代を迎える中、学校教育には、生涯にわたって主体的に学び続け、多様な他者と協働しながら自らの人生を舵取りすることができる、民主的で持続可能な社会の創り手の育成が求められている。また、学校体育については、サイバー空間とフィジカル空間の融合が進む中、全ての子供が運動やスポーツの多様な楽しみ方を味わう機会を保障するとともに、人と関わりながら自分らしく健康で生き生きとした人生を送る基盤づくりに貢献する知・徳・体を育む上で不可欠な学びの場として、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現していくために必要な資質・能力を育成することが期待されている。

これまで新潟県では、深い学びを実現するには体育や保健の「見方・考え方」を働かせることが重要と捉え、子供たちが深く学ぶ楽しさや喜びを実感できる教育実践や授業等の在り方を追求してきた。子供たちが体育や保健の「見方・考え方」を働かせながら資質・能力を身に付けるとともに、自己の学びや成長を実感したり、それを他者と共有したりすることを通して、体育・保健体育を学ぶ楽しさや喜びを実感できるようにする学習過程を重視している。

これらのことを受けて、本大会では、幼稚園教育要領や学習指導要領の趣旨及び内容、並びに新潟県の子供たちの実態やこれまでの研究実践を踏まえ、大会主題を「生涯にわたる心身の健康の保持増進と豊かなスポーツライフの実現に向けて、子供たちが深く学ぶ楽しさや喜びを実感できる体育・保健体育学習」と設定した。これまで新潟県が進めてきた取組の成果を踏まえた教育実践や授業を公開し、各分科会において、大会主題に掲げる体育・保健体育学習の在り方について提案する。

2 大会主題 生涯にわたる心身の健康の保持増進と豊かなスポーツライフの実現に向けて、子供たちが深く学ぶ楽しさや喜びを実感できる体育・保健体育学習

3 主 催 スポーツ庁 公益財団法人日本学校体育研究連合会

4 共 催 新潟県教育委員会 新潟市教育委員会 長岡市教育委員会

5 主 管 第65回全国学校体育研究大会新潟大会実行委員会

6 期 日 令和8年11月12日（木）～13日（金）

7 会 場

(1) 全体会会場（第1日） 朱鷺メッセ
新潟市中央区万代島6-1

(2) 分科会会場（第2日） 新潟県内12会場

<u>幼児教育施設</u> <u>小 学 校</u>	第1分科会	新潟青陵こども園
	第2分科会	新潟市立沼垂小学校
	第3分科会	新潟市立上所小学校
	第4分科会	新潟市立笹口小学校
	第5分科会	新潟市立小針小学校
	第6分科会	長岡市立四郎丸小学校
	<u>中 学 校</u>	第7分科会

	第8分科会	新潟市立小針中学校
	第9分科会	長岡市立東北中学校
高等学校	第10分科会	新潟県立長岡高等学校
	第11分科会	新潟県立新潟商業高等学校
特別支援学校	第12分科会	新潟県立江南高等特別支援学校

8 参加対象

- (1) 全国の幼児教育施設、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校の教職員及び保健体育行政関係者
- (2) 社会体育等の指導者及び大学等の研究者
- (3) 一般参加者

9 内 容

(1) 全体会（第1日）

- ア 開 会 式
- イ 表 彰 式
- ウ 基調報告
- エ 解 説

「次期学習指導要領の方向性」

塩見 英樹 （スポーツ庁政策課教科調査官）

オ シンポジウム

「次期学習指導要領の方向性を踏まえた、これからの体育・保健体育の学習」

コーディネーター 友添 秀則 （公益財団法人日本学校体育研究連合会・会長）
（環太平洋大学体育学部・教授）

シンポジスト 藤原 浩 （京都市立太秦小学校・校長）
細川 江利子 （埼玉大学学術院(教育学部)・教授）
森 良一 （東海大学体育学部体育学科・教授）

カ 特別講演

「これまでの学校体育の役割と教師像から、これからの教師の力量を考える」

講 師 西原 康行（新潟医療福祉大学 副学長・教授）

(2) 分科会（第2日）

- ア 公開保育・公開授業
- イ 研究発表・研究協議
- ウ 指導講評
- エ 閉 会 式

10 日 程

1日目：11月12日（木） 全体会 【朱鷺メッセ】

新潟市中央区万代島6-1

9:30	10:00	10:40	11:30	12:00	13:00	13:50	15:50	17:00
受付	開会式	表彰式	基調報告	昼食	解説	シンポジウム	休憩	特別講演

2日目：11月13日（金） 分科会 【各分科会会場・学校】

第1分科会 【新潟青陵こども園】 新潟市中央区水道町1－5939

9:00	9:30	11:15	11:30	12:00	13:00	15:00
受付	公開保育	移動	開会式	昼食	研究協議 指導講評	閉会式

第2分科会 【新潟市立沼垂小学校】 新潟市中央区鏡が岡5－5

9:00	10:00	10:45	11:00	11:45	12:45	15:00	
受付	公開授業①	休憩	公開授業②	昼食	開会式	研究協議 指導講評	閉会式

第3分科会 【新潟市立上所小学校】 新潟市中央区近江3－2－1

9:00	10:00	10:45	11:00	11:45	12:45	15:00	
受付	公開授業①	休憩	公開授業②	昼食	開会式	研究協議 指導講評	閉会式

第4分科会 【新潟市立笹口小学校】 新潟市中央区笹口2－47

9:00	10:00	10:45	11:00	11:45	12:45	15:00	
受付	公開授業①	休憩	公開授業②	昼食	開会式	研究協議 指導講評	閉会式

第5分科会 【新潟市立小針小学校】 新潟市西区小針2－36－1

9:00	9:50	10:35	11:00	11:45	12:45	15:00	
受付	公開授業①	休憩	公開授業②	昼食	開会式	研究協議 指導講評	閉会式

第6分科会 【長岡市立四郎丸小学校】 長岡市四郎丸1－2－25
 【受付：長岡市民体育館】 長岡市学校町1－2－1

9:00	9:30	9:40	10:25	10:55	11:40	12:45	15:00	
受付 (長岡市民体育館)	説明	公開授業① (長岡市民体育館)	移動	公開授業② (四郎丸小学校体育館)	昼食	開会式	研究協議 指導講評	閉会式

第7分科会 【新潟市立東新潟中学校】 新潟市東区山木戸1－2－1

9:00	9:50	10:40	10:55	11:45	12:45		15:00
受付	公開授業①	休憩	公開授業②	昼食	開会式	研究協議 指導講評	閉会式

第8分科会 【新潟市立小針中学校】 新潟市西区小針1－37－1

9:00	9:45	10:35	10:55	11:45	12:45		15:00
受付	公開授業①	休憩	公開授業②	昼食	開会式	研究協議 指導講評	閉会式

第9分科会 【長岡市立東北中学校】 長岡市川崎5－485－1

9:00	9:50	10:40	10:55	11:45	12:45		15:00
受付	公開授業①	休憩	公開授業②	昼食	開会式	研究協議 指導講評	閉会式

第10分科会 【新潟県立長岡高等学校】 長岡市学校町3－14－1

9:00	9:55	10:50	11:00	11:55	12:55		15:00
受付	公開授業①	休憩	公開授業②	昼食	開会式	研究協議 指導講評	閉会式

第11分科会 【新潟県立新潟商業高等学校】 新潟市中央区白山浦2－68－2

9:00	9:55	10:50	11:00	11:55	12:55		15:00
受付	公開授業①	休憩	公開授業②	昼食	開会式	研究協議 指導講評	閉会式

第12分科会 【新潟県立江南高等特別支援学校】 新潟市江南区北山1510

9:00	9:50	10:40	10:55	11:45	12:45		15:00
受付	公開授業①	休憩	公開授業②	昼食	開会式	研究協議 指導講評	閉会式

11 参加費 5,000円（新潟県内在住：2,000円、新潟県内小学校教員：無料）

12 参加申込み・宿泊手続き ※大会役員・関係者の参加申込みは不要

(1) 電子申込み

「学体連HP」の「全国大会（新潟）参加申込み」アイコンから入力する。

（9月1日接続開始予定）

- ①「学体連HP」の検索は：ガクタイレン（<http://www.gakutairen.jp/>）
- ②申込み取扱い業者HP（東武トップツアーズ）にリンクします。
- ③運営全体の効率化のため、できるだけ各都道府県事務局や学校単位で参加者を取りまとめでの申込みにご協力ください。

(2) 紙面等による申込み

紙面等による申込みは原則行いません。

上記（1）による電子申込みが事情によりできない場合は下記にお問合せください。

窓口：東武トップツアーズ新潟支店 全国学校体育研究大会係

TEL：050-9001-8753 / FAX：025-243-2255

(3) 申込み締め切り

令和8年10月9日（金）17:00 まで

※1日目・全体会「大会参加券」、2日目・分科会「分科会参加券」がないと入場できません。

必ず、それぞれ別紙に印刷（表裏印刷不可）してご持参ください。

印刷した「大会参加券」「分科会参加券」は、それぞれの会場受付にて回収いたします。

※災害等不測の事態の緊急連絡の観点から予約なしの受付はいたしません。

13 その他

- (1) 自家用車でのご来場の場合、全体会会場は近隣の有料駐車場をご利用ください。分科会会場は、公共交通機関等をご利用ください。各会場への行き方については、右の二次元コードでご確認ください。



なお、新潟県内在住の参加者には、下記の分科会のみ自家用車の駐車が可能です。台数制限がある分科会もありますので、満車の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。

分科会 No.	分科会会場	駐車場
第1分科会	新潟青陵こども園	大学・園構内駐車場 ※台数に制限有 ※近隣の有料駐車場はありません
第2分科会	新潟市立沼垂小学校	校地内
第3分科会	新潟市立上所小学校	学校グラウンド
第5分科会	新潟市立小針小学校	学校グラウンド
第12分科会	新潟県立江南高等特別支援学校	校地内 ※50台まで駐車可能

- (2) 次の分科会については、シャトルバス【往路・復路】を運行予定ですので、参加申し込みの際にご確認ください。

- ① 新潟駅⇄第2分科会（新潟市立沼垂小学校）経由⇄第7分科会（新潟市立東新潟中学校）
- ② 新潟駅⇄第8分科会（新潟市立小針中学校）
- ③ 長岡駅⇄第6分科会（長岡市民体育館・長岡市立四郎丸小学校）経由⇄第9分科会（長岡市立東北中学校）

- (3) 大会内容の変更等の連絡は、公益財団法人日本学校体育研究連合会ホームページ（<http://www.gakutairen.jp/>）でお知らせします。

- (4) 本研究大会は、新潟県・新潟市小学校教育研究会指定研究事業です。そのため、県内小学校教員の参加費は無料となります。

14 問合せ先

新潟大会実行委員会事務局（新潟市教育委員会学校支援課内） 櫻井 朝之
〒951-8554 新潟市中央区古町通7番町1010番地 古町ルフル4階
TEL 025-226-3261 FAX 025-226-0073
E-mail t.sakurai8826@city.niigata.lg.jp

公益財団法人 日本学校体育研究連合会
TEL 03-3465-3954 FAX 03-3465-7464
E-mail jimukyoku@gakutairen.jp
ホームページ URL <http://www.gakutairen.jp/>

第65回全国学体研新潟大会 分科会公開領域・授業者・助言者一覧

	分科会	会場園		保育 学級	内容	保育者	助言者
幼稚園	1	新潟青陵こども園	公開	2歳児・ 満3歳児	表現遊び	小澤 利枝	東京学芸大学 教授 吉田 伊津美
			公開	3歳児	ごっこ遊びなど	宮島 彩花	
						栗賀 瑠花	
			公開	4歳児	見立て遊びなど	坂井 琴音	
			公開	5歳児	粗大・微細運動など	藤田 美和	
						辻 日和	

	分科会	会場校		学年	領域(内容)	授業者	助言者
小学校	2	新潟市立 沼垂小学校	公開①	2	器械・器具を使つての運動遊び (マットを使った運動遊び)	竹松 譲	群馬大学 准教授 鬼澤 陽子
			公開②	6	ボール運動(ゴール型) 「フライングフットボールを基にした簡易化されたゲーム」	小川 海輝	
	3	新潟市立 上所小学校	公開①	2	走・跳の運動遊び(走の運動遊び)	安立 悠紀	新潟大学 准教授 檜皮 貴子
			公開②	3	体づくり運動(多様な動きをつくる運動)	田中 智也	
	4	新潟市立 笹口小学校	公開①	2	表現リズム遊び(表現遊び)	本間 葵	愛知教育大学 准教授 成瀬 麻美
			公開②	4	器械運動(跳び箱運動)	阿部 泰尚	
	5	新潟市立 小針小学校	公開①	4	器械運動(マット運動)	平澤 素陽	神奈川県立総合教育センター 指導研究課長 斎藤 祐介
			公開②	5	陸上運動(走り高跳び)	山本 桜平	
	6	長岡市立 四郎丸小学校	公開①	5	ボール運動(ネット型) 「ソフトバレーボールを基にした簡易化されたゲーム」	渡邊 輝	順天堂大学 前任准教授 荻原 朋子
			公開②	4	保健(体の発育・発達)	小野塚知実 中島 晴香	

	分科会	会場校		学年	領域(内容)	授業者	助言者
中学校	7	新潟市立 東新潟中学校	公開①	3	球技(ゴール型) 「サッカー」	中澤 秀仁	国士舘大学 准教授 陳 洋明
			公開②	2	陸上競技(ハードル走)	梅沢 怜史	
	8	新潟市立 小針中学校	公開①	2	ダンス(現代的なリズムのダンス)	武田 慎吾	筑波大学 准教授 寺山 由美
			公開②	2	健康な生活と疾病の予防 「がんの予防」	室橋 幸子	
	9	長岡市立 東北中学校	公開①	1	武道(柔道)	小島 勝徳	信州大学 教授 渡辺 敏明
			公開②	2	器械運動(跳び箱運動)	川本 真嗣	

高等学校	分科会	会場校		学年	領域(内容)	授業者	助言者
	10	新潟県立 長岡高等学校	公開①	2	球技(ベースボール型) 「ソフトボール」	藤巻 辰也	中京大学 教授 後藤 晃伸
			公開②	3	体育理論 (豊かなスポーツライフの設計の仕方)	中田 哲	
	11	新潟県立 新潟商業高等学校	公開①	2	球技(ゴール型) 「バスケットボール」	神田 智嗣	茨城大学 教授 吉野 聡
			公開②	1	現代社会と健康 (精神疾患の予防と回復)	近藤貴恵子	

特別支援学校	分科会	会場校		学年	領域(内容)	授業者	助言者
	12	新潟県立江南 高等特別支援学校	公開①	2	球技(ゴール型) 「フロアホッケー」	阿部 岳文	東海大学 教授 内田 匡輔
			公開②	3	体づくり運動 (体ほぐしの運動・体の動きを高める運動・ 実生活に生かす運動の計画)	阿部 孝亨	